

令和2年度 日本海情報ビジネス専門学校 自己評価

■自己評価の定義

文部科学省の専門学校における学校評価ガイドラインに基づき「学校の教職員が、学校の理念・目標に照らして自らの教育活動について行う評価」を行うものであり、本校で各評価項目を5段階数値（1～5、不適切～適切）により評価したものである。

大項目 1 教育理念・目的・人材育成像

大項目総括	特記事項
本校の教育目標は、地域の企業、官公庁などで活躍する有為の人材を育成することであり、その実現のために次の基本理念と教育方針を掲げている。 ■基本理念 「専門性と人間力を有し、地域で活躍する有為の人材を育成する」 ■教育方針 1 確固たる専門的な知識・技能の習得 2 豊かな人間性の涵養 3 職業人、社会人としての実践力の育成 この基本理念は毎月行われる全校集会でも唱和しており、学生にも周知されている。なお、今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から全校集会は自粛した。 校内での説明会や学外ガイダンスなども積極的に行い、学園内外に広く知られるよう取り組んでいる。 今後も、外部評価や企業への訪問などを行い、更に社会や業界のニーズを掴み、社会に通用する教育目標や人材育成像を明確にし教育成果につなげたい。	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	今年度評価
1-1 学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	基本理念に基づき明確に定められおり、学則、学校案内、HPなどの資料に明記されている。		学則、細則、内規 学校案内、HP	5.0
1-2 学校における職業教育の特色は明確になっているか	各コースの特色は明確であり、学校案内を見直したことでより明確化した。		学則、学校案内 HP	5.0
1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	地域経済の状況を把握しながら、地域に根差し貢献できる人材育成・教育に取り組んでいる。	時代の変化に沿った将来構想はいまだ不十分である。 中長期的な目標について、企業や外部評価委員からの意見を取り入れる。	学則、学校案内	3.9
1-4 学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	学生や保護者を対象に各種説明会（オープンキャンパス、入学・進級説明会、オリエンテーション等）やガイダンスなどを行い周知を図っている。		学校案内 学生生活の手引き 各種説明会	4.8
1-5 各学科の教育目標、人材育成像は、学科などに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	社会人としての普遍的なニーズを想定した教育目標を定めているが、業界のニーズをとらえた方向づけは不十分である。	より業界のニーズをとらえた方向づけを行う必要がある。 ・企業へのアンケートを実施し、企業訪問を積極的に行う	学則、学校案内	3.6

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

大項目 2 学校運営

大項目総括	特記事項
学校運営については、その意思決定システムが確立されており、学園の運営方針は理事会・評議員会で、また学校内の運営方針は校長を中心とした職員会議によって定められ決定されている。 学校法人化により、事業計画や規則・規定を見直したことにより体制はより改善している。また、今後も常時見直しを行い適時改善を行いよりよい学校運営を目指している。 コンプライアンスについては、職員会議などで教職員一同コンセンサスを得て適正に運用されている。 教育活動については情報公開しており、各種説明会・ガイダンス・学校案内・HP等で積極的に伝えている。	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	今年度評価
2-1 目的などに沿った運営方針が策定されているか	運営方針は定められている。		理事会、評議員会資料・議事録 寄附行為	4.8
2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	大筋の事業計画は定められている。	事業計画は定められているが、それをもとにした具体的な事業計画を定める必要がある。	理事会、評議員会資料・議事録 事業計画書	4.0
2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	規則によって定められており、有効に機能し始めている。	今後より有効に機能させるために、運営組織の運営実態にあった共有化を進める。	各種会議資料 役員名簿、寄附行為 組織図、就業規則	3.8
2-4 人事、給与に関する規定などは整備されているか	人事、給与に関する規定はいまだ十分ではない。	人事、休養に関する規定をさらに整備する必要がある。	就業規則ほか各種規定 学則、細則、内規	3.5
2-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	意思決定システムは確立されている。	システムが有効に機能するように努める必要がある。	理事会、評議員会 各種会議資料 学則、細則、内規	4.4
2-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	学校法人として、社会通念に従って適正に運営している。	職員会議などで職員への周知を図る。	寄附行為 各種会議資料	4.3
2-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	学校の概要や教育内容などを各種説明会、学校案内、HP等を利用し公開している。	S N Sを活用した情報発信に努める。	各種説明会、 学校案内、H P S N S	4.5
2-8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	様々な情報システムを導入し業務の効率化を図っている。	研修などを行い情報リテラシーの向上をはかる。		3.8

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

大項目3 教育活動

大項目総括	特記事項
本校のカリキュラムは、教育目標・基本理念に沿って体系的に編成されている。 各コースにおいて進級・卒業基準検定を設定しており、資格取得のための学習時間を十分に確保し、学生の学習意欲向上を図っている。また、ビジネスマナー週間の設定や各種業務説明会などを行い、基本理念の一つである「実践力の育成」に努めている。 教職員の指導力向上、能力開発が今後の課題であり、人員の確保、研修の充実を引き続き図っていきたい。	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	今年度評価
3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	教育理念に沿って、各コースの特性に合わせた教育課程を編成している。	人間育成の面でさらに深めていく必要がある。	教育理念 教育課程表 シラバス	4.8
3-2 教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	各コースで進級・卒業基準検定を設定している。 学習時間は十分に確保している。	学力や学習意欲をさらに高める必要がある。	学則、細則、内規 学生生活の手引き シラバス	4.4
3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	各コースのカリキュラムは体系的に編成されている。	新しい検定、学習内容を取り入れる。	シラバス 時間割	4.6
3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	業務説明会や社会人講師の導入など、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムを実施している	今後さらに工夫・開発を行い改善していく。	シラバス 時間割	4.3
3-5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	外部評価委員会を通して外部への意見を取り入れる体制を整えているが、いまだ十分ではない。	外部評価や企業へのアンケート、企業訪問などによるカリキュラムの見直しを行う。	外部評価委員会資料 企業アンケート	3.5
3-6 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	とっとりインターンシップ、病院実習、官公庁職場体験、などを実施しており、体系的に位置づけられている。		インターンシップのしおり、実習日誌	4.4
3-7 授業評価の実施・評価体制はあるか	授業評価アンケートを実施しており、授業の質向上に努めている。	アンケート内容の改善を図る。	授業評価アンケート	4.6
3-8 職業教育に対する外部関係者や企業からの評価を取り入れているか	外部評価委員会を通して外部からの意見を取り入れる体制を整えている。	企業から助言をいただく機会を増やし、今後の教育活動に活用する。	外部評価委員会資料 企業アンケート	3.7
3-9 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	明確になっており、学生、保護者への周知も徹底している。		学則、細則、内規 学生生活の手引き	4.9
3-10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	授業の中で資格取得に向けての対策を十分に行っている。		教育課程表、シラバス 学生生活の手引き	4.8
3-11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	目標達成に必要な要件を備えた教員は確保できている。	今後も学生増に対応した人員の確保が必要である。	教職員名簿、学則 校務分掌、組織図	4.4
3-12 関連分野における先端的な知識・技能等の修得や職員の能力開発のための研修等が行われているか	コース担当によっては、定例的な研修に参加できている。	校外への研修の機会が乏しい。 ・関連機関との連携を図る。 ・長期休暇を利用するなど研修の推進を図る。 オンライン、リモートによる研修に積極的に参加する。	研修報告書	3.5

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

大項目 4 学修成果

大項目総括	特記事項
本年度の就職率は98.1％であり、概ね目標は達成している。 各種検定試験・資格取得に関しては、試験傾向や試験範囲だけでなく、試験制度そのものの変更が行われるケースも増えている中、その変化にいち早く対応し、常に高い合格率・取得率を維持している。また、新型コロナウイルスにより検定試験が中止や延期、実施体制の変更（CBT）など受験環境の変化があったが適切に対応できている。 学生対応については担任・副担任を中心に学生が教員に気軽に相談しやすい体制をとっている。また、担任との面談だけでなく、教務主任や校長との面談も必要に応じて行っている。 今後は卒業生へのアンケート、企業へのアンケートなどを充実させ、卒業後の実態を把握し、学校の教育活動の改善に活用していきたい。	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	今年度評価
4-1 就職率の向上が図られているか	就職に関するカリキュラムは整備されている。	段階的なカリキュラムを整備する。	学校案内、広報資料、学生生活の手引き	4.8
4-2 資格取得率の向上が図られているか	向上のための指導を行っている。		学校案内、広報資料、学生生活の手引き シラバス	4.4
4-3 退学率の低減が図られているか	クラスごとで出席管理を厳格化し、欠席や遅刻に関する指導をきめ細やかに行い、また、担任を含め、教員に気軽に相談できる体制をとっている。	一部には入学後に目的を見失う学生が一定数いる。 ・入学前のコース理解に努める	学校案内、広報資料、学生生活の手引き	4.5
4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	卒業生の来校や卒業生へのアンケート、企業へのアンケートを行うことを検討している。	就職先を訪問し、評価等の把握に努める。 企業へのアンケートを実施する。	企業アンケート 卒業生アンケート	2.9

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

大項目 5 学生支援

大項目総括	特記事項
学生への支援については、就職支援、学生相談、経済的支援、健康管理、生活環境支援などの体制が整っている。また、本校は学生数が100人程度の規模であり、一人ひとりに手厚い支援を行っている。 保護者との連携については、本校はこれを重要視しており、電話での連絡だけでなく、学校に来ていただいて面談を実施するなど、連携を密にしている。 本校では同窓会を組織しており、卒業生への支援につなげられるよう検討している。	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	今年度評価
5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	担任制のもと、進路・就職に関する支援体制は整備されている。 ジョブカードを利用している。		求人票 進路調査報告書	4.3
5-2 学生相談に関する体制は整備されているか	定期的に担任が面談を行い学習や学生生活に関する悩みに対応している。	専門家の協力体制を検討する		4.0
5-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	就学優遇制度や特典制度など支援体制は充実している。		募集要項 奨学金関係書類	4.4
5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	現在のところ結核健診だけにとどまっている。	内科検診の実施を検討している。		2.9
5-5 学生の生活環境への支援は行われているか	希望する学生にはアパートの斡旋など、生活環境への支援を行っている。			4.0
5-6 保護者と適切に連携しているか	入学・進級説明会の実施や、適時、連絡を取るなど適切に連携している。			4.8
5-7 卒業生への支援体制はあるか	資格取得や再就職など相談があった場合に積極的に対応している。			4.0

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

大項目 6 教育環境

大項目総括	特記事項
本校の施設・設備は設立当初から使用しているが、必要に応じて改修、改善が行われている。今後も校内の設備・備品のチェックを行い、必要に応じて随時修繕・新調していく。 学外での実習、インターンシップについては関係機関と連携し積極的に行われている。 防災に関する体制については、法令に従い必要な規定や防災設備を整えてはいるが、規定や設備の整備だけではなく教職員、学生の防災意識も高める必要があると考える。 今年度より新たに防疫に関する体制の整備も評価項目に追加し、新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策の見直しも行う。	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	今年度評価
6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	対応できている。	学生の机や椅子など、古くて使えなくなったものは随時新調する。	固定資産管理台帳 物品管理台帳	4.1
6-2 学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	関係機関との連携を密にし、教育体制を整備している。		インターンシップ関連資料	4.5
6-3 防災に対する体制は整備されているか	法令に従い、必要な規定や体制を整えている。今後は、起こり得る災害や事象に対応できるよう各種整備を行う予定である。	災害時の体制は不十分である。 ・マニュアルの策定 ・職員の防災訓練の実施 ・防災設備の使用に関する研修の実施	防災マニュアル	3.5
6-4 防疫に対する体制は整備されているか	国や県の感染症対策ガイドラインに準拠した対応を行っている。具体手には玄関に消毒液、サーモグラフィーを設置し、また教室の配置の工夫、こまめな換気、校内設備の消毒などを行い、感染症の感染防止に努めた。	今後も継続して感染症対策を徹底する必要がある。	感染症予防ガイドライン	4.0

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

大項目 7 学生の受け入れ募集

大項目総括	特記事項
1 8歳人口が減少する中、本校は一定数の学生数を維持できている。これは、本校の教育成果の水準が高く、高校訪問やガイダンス、オープンキャンパスなどで正確に伝えることによって、県内の高等学校からの信頼を得ているからであると考えている。 学納金については、他の同分野の専門学校と比較しても標準的なものとなっている。また、納期も分割され、納入による負担の軽減も図っている。	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	今年度評価
7-1 学生募集活動は適正に行われているか	適正に行われている。		学校案内、募集要項、オープンキャンパス、HP	4.7
7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	高校訪問、ガイダンス、オープンキャンパス等を実施し、卒業生の学校へ正確に伝えている。		学校案内、募集要項、オープンキャンパス、HP	4.5
7-3 学納金は妥当なものとなっているか	標準的なものになっている。		学校案内、募集要項	4.5

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

大項目 8 財務

大項目総括	特記事項
現状、一定の学生数が維持できており、財政基盤は安定している。しかし、18歳人口は減少しており、今後の財政基盤を安定させるため方策を検討する必要がある。 財務諸表については計画的に予算を策定し、計画・実行をしている。 決算処理についても、定期監査を含め適確な会計処理に基づいて行われている。	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	今年度評価
8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか	財政基盤は安定している。	少子化の影響などによる経営環境の変化に備え、財務基盤をより強化する必要がある。そのために中長期計画をさらに具体化し、達成に向けて努力しなければならない。	事業報告書	4.5
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	予算・収支計画は妥当なものとなっている。	有効で妥当なものになっているがより精度を高める必要がある。	財務諸表	4.5
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	会計監査は適正に行われている。		監査報告書	5.0
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	情報公開の体制整備はできている。	今後情報の公開を予定している。	財務諸表	5.0

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

大項目 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項
学校教育法、専修学校設置基準などの関連法令に基づき、また、学校法人の寄附行為に則り適切な運営がなされている。学則や諸規定など、教職員がいつでも閲覧できるような体制を整えている。 個人情報の保護については、個人情報保護規定を策定している。また、学生に対しても情報倫理ガイドラインを示しており、個人情報保護法の遵守をしている。 昨年度より自己評価・学校評価を実施しており、結果をホームページで公開している。	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	今年度評価
9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	法令に従った、適正な運営を行っている。		寄附行為、学則	4.8
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	個人情報保護規定を策定している。		個人情報保護規定 情報倫理ガイドライン	4.6
9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	自己評価を実施しており、自己評価をもとに課題の改善を図り学校の質向上を目指している。		自己評価報告書	4.6
9-4 自己評価結果を公開しているか	H P にて公開している。		H P	5.0

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

大項目 1 0 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項
学校の教育資源・施設の活用については、各種検定の試験会場として施設を活用しており、外部受験者の受け入れを行っている。 今年度はコロナ禍において県内イベントの中止が相次ぎ、学生のボランティア活動の機会も減ったが、例年は皆生トライアスロンをはじめとする様々なボランティアに多くの学生が参加し、大会運営の一翼を担っている。来年度には新たに周辺地域の清掃活動を企画している。 本校は、今年度産業人材育成センターからの委託訓練を実施しており、今後も継続して実施する予定である。	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	今年度評価
10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	各種検定や試験の会場として外部受験者の受け入れを行っている。	地域や企業との連携を強化する。		3.8
10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	今年はコロナ禍でできなかったが、ボランティアを奨励しており、例年、ほぼすべての学生が、地元を中心としたボランティアに参加しており、地域貢献をしている。	今後、周辺地域の清掃などのボランティアを検討する。	ボランティア活動等に関する資料	4.5
10-3 地域に対する教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	公共の職業訓練の受け入れや実施を行っている。			5.0

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >